学校番号	1006

令和２年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「書Ⅱ」（光村図書）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

書道Ⅰで学んだ基礎から発展させた作品制作を行い、自己表現力、鑑賞力をつけます。
さらに、歴史的書作品の理解を深め、同時に現代の書作品のあり方を認識できるよう学習していきます。

２　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して，生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに，感性を高め，個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし，書の伝統と文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	さまざまな書の美に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	・古典の特徴を捉え、習得した技法を自身の表現活動に生かしている。 ・感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	・漢字仮名交じりの書、漢字の書、仮名の書の学習で習得した表現の能力を生かし、創造的な表現の技能を身につけ表している。 ・目的や用途に応じた書表現をするために、効果的な表現の技能を身につけている。	・書の美の多様性、書が生活の中で果たしている役割、書の文化や伝統を理解し、そのよさや美しさを深く味わっている。 ・自身や他者の作品を客観的に観察し、自己の創作活動に生かすことができる。
評価方法	活動への参加状況や態度 ワークシート	創作活動への参加状況や態度 ワークシート 作品	観察 ワークシート 作品	学習活動への参加状況や態度 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	篆書を書く	【臨書】 ・大盂鼎 ・石鼓文	○	○	○		a:篆書に関心をもち、ふたつの古典の書風を理解しようとしている。 b:ふたつの古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現を工夫している。 c: ふたつの古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現をすることができる。	制作態度 ワークシート 作品
	篆刻	【創作】 名前印を刻す	○	○	○		a:印の歴史について理解しようとしている。 b:篆刻の手順に従い、名前印の表現を工夫している。 c:篆刻の準備と手順について理解し、名前印を刻すことができる。	制作態度 ワークシート 作品
	隷書を書く	【臨書】 ・乙瑛碑	○	○	○		a:乙瑛碑の書美と表現技法に関心を持ち、意欲的に臨書や鑑賞に取り組んでいる。 b: 乙瑛碑の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現を工夫している。 c:乙瑛碑の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現をすることができる。	制作態度 ワークシート 作品
二学期	草書を書く	【臨書】 ・十七帖 ・真草千字文	○	○	○		a: 草書に関心をもち、ふたつの古典の書風を理解しようとしている。 b:ふたつの古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現を工夫している。 c: ふたつの古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現をすることができる。	制作態度 ワークシート 作品

	臨書作品制作	好きな書体で古典を選択し、臨書作品を制作する		○	○	○	b: 各古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現を工夫している。 c: 各古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現をすることができる。 d:さまざまな書体や書風の違いを理解している。	制作態度 ワークシート 作品
	仮名の書	【臨書】 ・寸松庵色紙	○	○	○		a: 散らし書きの古筆の美に関心を持っている。 b:寸松庵色紙の線質や字形、紙面構成の特徴を理解し、書風を生かした表現を工夫している。 c: 寸松庵色紙の線質や字形、紙面構成の特徴を理解し、書風を生かした表現をすることができる。	制作態度 ワークシート 作品
三学期	自分の思いを作品にしよう	【創作】 漢字仮名交じりの書で自分の思いを作品として仕上げる	○	○		○	a:自己の意図に基づき、様々な表現を試みることに意欲的に取り組んでいる。 b:感興や意図に応じた表現を構想し、工夫している。 d: 作品を鑑賞して感じたことを他者に伝えたり、他者の意見を元に自らの鑑賞を深めることができる。	制作態度 ワークシート 作品

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。